

「女性が輝くまち 芦屋」プロジェクトについて

<p style="text-align: center;">目 的</p>	<p>すべての女性が自分らしく生き活きとした生き方ができるまちを目指し、家庭の状況がライフスタイルに影響しやすい女性を対象に、就労・起業等に有用な情報の提供や多様な働き方、活躍の場の提案など、個々の状況に応じた包括的な支援を展開することで活躍を促し、自らの経験が地域に還元されることにより、地域の活性化を図ろうとするもの。</p>
<p style="text-align: center;">令和元年度 事業内容</p>	<p>「女性が輝くまち 芦屋」プロジェクトの実施 地方創生推進交付金対象事業【交付金 14,940 千円】</p> <p>子育て世代も含めた女性の活躍を促すため、「女性が輝くまち 芦屋」の実現を目指した「ASHIYA RESUME 事業」を継続すると共に、「旧宮塚町住宅活用事業」として、2階部分の改修及び利用者募集等を下記のとおり、行なった。</p> <p>◆「ASHIYA RESUME 事業」 【委託費：15,150 千円】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・プロモーション イベント告知や女性活躍に関する情報提供のため、ホームページを随時更新した。 また、プロジェクト周知のため、リーフレットを作成し、市内公共施設に配架した。 ・プロジェクトへの参加希望者の登録促進 プロジェクトへの参加希望者として、就業・起業希望者 121 名の登録を得た。 ・各種事業の実施【別紙「事業一覧」参照】 事業を開催し、起業や就労等への活躍を支援した。 <p>◆「旧宮塚町住宅活用事業」 【委託費：14,730 千円】</p> <p>市営住宅であった旧宮塚町住宅を女性の活躍支援や地域活性化の拠点となるよう、平成 30 年度に 1 階部分を改修して、入居者を募集し、4 戸の入居者を決定している。4 戸の入居者は、1 戸は紅茶専門店、3 戸はものづくりを行っている女性や起業間もない方が入居した。令和元年度は 2 階部分を改修し、3 戸の入居者を決定した。1 階部分と同様、ものづくりを行っている女性や起業間もない方が入居した。また、北側敷地を含めた旧宮塚町住宅の管理運営業務を提案方式で募集し、業者を決定。施設等の管理やオープニングイベントを開催し、地域活性化につながる取組を行った。</p> <p>北側敷地については、コインパーキングと農家のレクチャーを受けながら利用できる農園へと改修を行い、利用者を募集した。 (利用者 16 組：令和 2 年 11 月現在) 利用者同士だけでなく、地域での交流の場となるように運営を行った。</p>
<p style="text-align: center;">令和 2 年度 取組内容</p>	<p>◆ASHIYA RESUME 事業</p> <p>地方創生推進交付金が令和元年度（平成 31 年度）で終了したが、規模を縮小しながらも事業を継続して実施している。過去 3 年間の事業状況から、起業・就労等につながる前段階の支援や交流が必要である。「何かしたいけどどうしたらいい?」「子育てが一段落したので、再度働きたいと思っているけど働ける?」など悩みを抱えている女性が多い。同じ悩みを抱えている女性同士が交流することで、起業・就労等へつながっていけるよう、事業テーマを厳選し、新しい生活様式に対応した実施形態で開催。 (オンライン受講の導入、新型コロナウイルス感染症拡大防止対策を実施)</p> <p>起業や就労等に向けた支援についての情報をメールマガジンやホームページに掲載。</p> <p>◆旧宮塚町住宅活用事業</p> <p>引き続き、旧宮塚町住宅管理運営業務の委託業者が地域活性化やコミュニティの創造を図るイベントや事業を、新型コロナウイルス感染症対策を行いながら定期的で開催。</p> <p>旧宮塚町住宅は、令和 2 年 8 月 17 日に国登録有形文化財に登録。令和 3 年 3 月に登録を記念した式典を実施予定</p>